

西日本学生拳法連盟が主管する 大会運営規定

試合までの確認事項

- 1, 参加申込書・出場選手名簿の提出,
- 2, リーダーズ研修会並びに抽選会の出席,
- 3, 分担金・参加費の納入,
- 4, 健康診断書の提出,
- 5, その他必要書類の提出,
- 6, 大会運営に必要な手伝い学生の派遣,

A, 運営について

大会(試合)運営に関して、一切の権限を主管学生拳法連盟が統括する。
運営に関する問い合わせは、主管学生拳法連盟委員長に文書でする。

B, 前日準備

- ①, 17:00……試合場設営 (手伝い学生各校3名。正面入り口点呼)
- ②, 17:30……主将会議 (於 会議室)
 - 1, 試合進行全般(開・閉会式)に関する打ち合わせ。
 - 2, 観戦・応援場所の決定・指示。
 - 3, 応援団参加校の応援団応援場所の決定・指示。
 - 4, その他。

C, 大会当日

C-I 開会式について

- ①, 8:30……体育館 開館
8:30……登録→体育館正面入り口登録所。(～9:00まで)
9:10……登録選手→多目的ホール集合・点呼。持参プラカード確認。
開会式準備・指導役員→理事会で選出し発表→2～3名,
指導当番校→理事会で選出し発表→2～3校,
9:20……入場行進準備。
9:30……入場。
9:40……開会式。
 - ②, 選手は、制定の道衣を着用し入場する。
 - ③, 各コート第2試合までの選手は、バンテージまで着装し入場する。
 - ④, 入場行進は、昨年度優勝校・準優勝校・3位校・(女子)より以下パンフレット番号順とする。

C-II 試合・進行について

- ①, 道衣・防具の着装・準備運動・練習・待機等は、多目的ホールを使用し、観客席・試合場設営フロア等では禁止する。
- ②, 第1試合は、4コート同時の試合開始とする。
 - 1, 各コートで試合が開始された時、そのコートの次の対戦校は、指定の場所でプラカードを先頭に選手全員整列し点呼を審判より受ける。
- ③, 試合での選手入場時に、監督・指導者・防具係りの学生も整列し入場する。
- ④, 入退場は、審判・プラカード(防具係りの学生)・選手・監督・指導者の順とする。
 - 1, プラカードは試合場の所定の場所に立てる。
 - 2, 選手以外の試合場立ち入りは、監督・指導者3名以内と、防具係1名の計4名以内とする。
- ⑤, 監督・指導者は上着(IDカード)・ネクタイ, 防具係学生は道衣着用とする。
- ⑥, 試合に際して選手は、紅白のたすきをつける。
 - 1, たすきは各校で用意する。
- ⑦, 未登録選手の出場は禁止。
 - 1, 違反の時、没収試合とし、7:0で違反校のまけとする。
 - 2, 出場選手登録変更は、主管学生拳法連盟委員長宛てに、1週間前までとする。

- 3, 試合のメンバー表は、封筒に入れ厳封し、各コートの記録席に直接提出する。
- 4, メンバー表・封筒は所定の物を使用する。
- 5, 提出後の、メンバー変更は認めない。
- 6, 勝利校は、本部席で次試合メンバー表用紙を受け取り、⑦-3,と同様にする。
- 7, 記録係は、対戦両校の提出で同時に開封する。
- ⑧, 試合時間は正味3分とする。
- ⑨, 試合に関する疑義申し出は、監督(又は、部長・監督より届け出のあった監督代務者)より、審判コート責任者への場合だけとする。
 - 1, 監督代務者届け先は、主管学生拳法連盟()役員とする。
- ⑩, 学生連盟より、各コートに責任者を置く。
- ⑪, 道衣・防具は、日本拳法全国連盟公認のものを着装し試合に出場する。
 - 1, 道衣には、大学名・校章・氏名以外の文字の刺繍・書き込みを禁止し、清潔なもので試合に出場すること。
- ⑫, 表彰選手は、主管学生拳法連盟役員から4名、及び、受賞選手校の指導者1名を選出し決定する。
- ⑬, 試合は、主管学生拳法連盟が決定する。
 - 1, 西日本学生拳法選手権の場合、7人抜き試合。
 - 2, 全日本学生拳法選手権の場合、7人対試合。
- ⑭, 規定人数の選手が出場できないとき、過半数以上の選手出場で試合成立とする。
- ⑮, 規定人数の選手が出場できないとき、先鋒より空席を作る。
 - 1, 出場選手6名のときは先鋒を空席、5名のときは先鋒・次鋒を空席とする。
- ⑯, 勝ち点同数の場合の勝敗決定。
 - 1, 西日本学生拳法選手権の場合、
 - ア, 大将が代表者として出場する代表者決定戦を行う。
 - イ, 更に引き分けた場合、その代表者により無制限1本勝負を行う。
 - 2, 全日本学生拳法選手権の場合、
 - ア, その試合に出場した選手の中より、代表者を1名選出し代表者戦を行う。
 - イ, 更に引き分けた場合、その代表者により無制限1本勝負を行う。
- ⑰, 試合中の負傷は主管学生拳法連盟委嘱の医師の指示に従って行うが、主管学生拳法連盟加入大会保険の範囲で対応する。
- ⑱, 防具脱落・場外等警告の1回0.5ポイントは採用するが、判定の対象とはしない。ただし、0.5ポイント2回で相手の1本とする。
- ⑲, 包帯・サポーター等は、主管学生拳法連盟へ医師作成診断書を提出し、使用許可を得なければならない。
なお、大会当日の負傷による使用許可は、リングドクターの助言により、主管学生拳法連盟が決定する。
- ⑳, 試合は、日本拳法競技規則に準じ行う。

C-III 閉会式について

- ①, 優勝決定戦終了後ただちに閉会式を行う。
- ②, 閉会式は、開会式の隊形で整列するが、中央付近に優勝校・準優勝校・3位校・(女子)は整列しておく。
- ③, 閉会式には、登録選手全員道衣着用で参加整列する。

D, 注意

- ①, 大会出場規定要項を満たしていない大学・関係(競技)役員の手指示に従わない大学等、主管学生拳法連盟役員が出場不的確と認めた場合、出場を取り消す。

E, その他

- ①, 参加申込書・出場選手名簿の提出・抽選会等については別に記載する。
- ②, 体育館の使用にあたって、学生拳法の名誉を傷つける様な行動は慎む事。
 - 1, 美化には特に気を付け、ゴミは各校必ず持ち帰ること。
 - 2, ビデオ撮影で体育館のコンセンツの使用は、事前に申告し許可を得る事。

③、応援団に関して

- 1, 応援団の応援がある大学は、試合1週間前までに主管学生拳法連盟まで文書でそれを提出し、許可を得ること。
- 2, 応援団参加大学は、応援団の行動について全責任を負うものとする。
 - ア, 応援団は、主管学生拳法連盟の指示に従い、大会運営(進行)等に支障のない様に応援する。
 - イ, 応援団席前の通路は、通行できることを条件とする。
 - ウ, 応援団席は、前日の主将会議の時指示する。

追記

①、西日本学生拳法選手権大会時に、西日本高等学校選手権大会を行う。

1, 試合は、男女決勝戦と三位決定戦で、大学三位決定戦前とする。

2, 高校生選手は、開会式の入場行進には参加しない。

③、全日本学生拳法選手権大会時に、女子選抜大会を行う。

1, 女子選手は、開会式の入場行進に参加する。入場順は、3位校の次とする。

本連盟主催(主管)大会での事故・ケガ・その他のアクシデントが発生した場合は主催(主管)が加入した傷害保険範囲内で補償することとし、選手本人または選手本人所属大学に過失があると判明した場合は、その被害者自身の自己責任として処理して下さい。

また、感染症防止対策には所轄保健所と連携して万全を期していますが万一罹患(大会中・大会後)した場合は主催者に報告し、その指示に従って下さい。